

www.ipsism.co.jp

株式会社アイ・ピー・エス

〒104-0045
東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 8F
TEL.03-3549-7621 FAX.03-3545-7331
E-mail info@ipsism.co.jp

KeySquare, Inc.

21st Floor, Hanston Square Building,
No. 17 San Miguel Avenue, Ortigas Center,
Pasig City. 1605, Philippines
TEL. +632-7368-5230, +632-7636-1486

InfiniVAN, Inc.

17TH Floor, Unit 1710, Hanston Square Building,
No. 17 San Miguel Avenue, Ortigas Center,
Pasig City. 1605, Philippines
TEL. +632-7368-5232

Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation

BGC Branch
21st Floor, Ore Central Building, 9th Avenue cor. 31st Street,
BGC, Taguig City 1630 Philippines

MAKATI Branch
Mezzanine, Tower 2, The Enterprise Center,
6766 Ayala Ave. cor. Paseo de Roxas, Makati City,
Metro Manila, Philippines

ORTIGAS Branch
21st Floor, Hanston Square Building,
No. 17 San Miguel Avenue, Ortigas Center,
Pasig City. 1605, Philippines



IPSは通信業界を牽引する、「コミュニケーション ハイウェイ」となり、
理想のビジネスソリューションを提案します。



OPEN DOORを ミッションに開拓

当社は「OPEN DOOR」をミッションに、
誰よりも先んじて事業機会を創造し、事業を展開し、
事業構造を変え、あるべき社会を実現、開拓していきます。
現在はフィリピンでの事業を中心に海外子会社とも
協業しながら幅広い事業展開を行っています。
新型コロナウイルス感染症により変化した世界にも対応し、
海外との扉を開いています。

OPEN DOOR



DOMESTIC AND OVERSEAS TELECOM BUSINESS IN THE PHILIPPINES

海外通信事業では、フィリピンと世界を繋ぐ国際海底ケーブルの通信容量を提供
フィリピン国内でも通信事業を展開し、将来は諸島を結ぶネットワークも構築

語学力を活かせるので、忙しいですが、充実した毎日を過ごしています。

Ryoichi Nagatsuka
永塚 凌一

2020年4月入社
情報通信事業本部 国際営業課 営業
フィリピン駐在
国際データ通信サービスの販売及び
法人向けブロードバンドサービスの販売
C2C海底ケーブルプロジェクトや
パナイ島・ミンダナオ島プロジェクトに参加

マニラと世界を結ぶ国際通信回線容量を提供 フィリピン国内でも免許を取得し通信事業を展開

IPSは、マニラと香港・シンガポール・北米などを結ぶ国際通信回線を提供している。その背景には、複雑なフィリピンのインターネット事情がある。フィリピン人に人気のYoutubeやFacebookは接続サーバーが香港やシンガポールにあり、インターネットを使うには、一旦そこを通らなければいけないシステムだった。

フィリピンでも、多くのケーブルテレビ(以下CATV)事業者がインターネット接続サービスを提供しているが、インターネット接続サービスに必要な国際通信回線は、エンドユーザーで競合する大手通信事業者しか提供できなかった。これでは事業者は競争力のあるサービスを提供することはできない。

IPSはフィリピン人向け事業を通じ、フィリピンのCATV事業者と相識となり、国際海底ケーブルのニーズを知った。そこでIPSでは、国内外の通信事業者から仕入れた『大口』の回線を、CATV事業者に対し、『小分け』して提供するこ

とにした。これによりCATV事業者は、通信の自由化が進んでいる香港やシンガポールで、インターネットと接続でき、競争力のあるサービスを販売できることになった。2020年にはC2C海底ケーブルの使用権も取得。自社で容量を生産でき、需要に応じてコントロールできるようになった。

しかし、フィリピン国内は未だメタル回線のDSLが多く使われており、アセアン主要国の中で、インターネットが最も遅くて高い国と言われている。そこで、光ファイバーによる先進国並みの高速インターネットを、リーズナブルな料金で実現するため、フィリピンの国内通信事業にも参入することとなった。マニラ首都圏オルティガスの通信事業者InfiniVANに出資し、光ファイバーの敷設、法人向けブロードバンドサービスの販売などを行っている。

2020年3月期にはミンダナオ島で現地CATV事業者と協業し、光ファイバー網を敷設している。さらに諸島間を結ぶ国内海底ケーブル敷設プロジェクトも進行中である。また、2019、2020年にはフィリピンで5Gの周波数の割当も受け、実証実験も行う予定だ。

2020年4月新卒入社の永塚(営業職)にインタビュー 成長を感じる海外、フィリピン国内通信事業とは

新卒で入社した永塚は、日本の本社で国内通信の営業研修後、現在はフィリピンに駐在、海外通信及びフィリピン国内通信の営業として様々なプロジェクトにも参加している。*「担当は国際データ通信サービスや法人向けブロードバンドサービスの販売です。業務は、販売に関わる見積作成や費用算定の他、C2Cプロジェクトやパナイ島・ミンダナオ島プロジェクトなどの海外、国内プロジェクトなどに参加しています。サポートしてくれるエンジニアや光ファイバーの調達スタッフはフィリピン人ですし、国外の事業者ともコンタクトを取ることが多いので、英語は毎日活用してます。」

新人ながら大役を任せられ、順風満帆に見える永塚だが、苦労はあったと語る。「大学時代は経済学部を専攻していたのもあって、通信に関する知識は圧倒的になく、初めは苦労しました。ただ、実際の業務で先輩方が親身になって教えてくれるので、不安感はなかったです。そして、吸収した知識によって、自分ができる仕事の範囲が目に見えて増えている所
※本来なら2020年5月にフィリピン研修があるはずだったが、新型コロナウイルス拡大の影響で中止

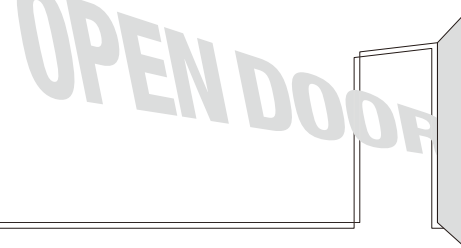
が凄くやりがいを感じます。」

未知の業務で多くの労苦があったにも関わらず常に前を向く永塚のモチベーションを維持させるものはなんだろうかと。 「まさにOPEN DOORに基づいて会社が動いていることを実感しているからです。最初のプロジェクトが一段落しても、すぐに次のプロジェクトが立ち上がる。常に挑戦。そして行動すれば成功する達成感が得られます。いつも成功するわけじゃないですけど(笑)。」例え失敗してもそこから学べることはある、と言葉を付け加える。

2月15日からマニラの教育施設への光ファイバー提供が始まるのが楽しみです、と嬉しそうに話す永塚に、将来に向けての抱負を尋ねた。フィリピンにもルーツを持つ彼は、日本品質のサービスでフィリピンの社会に貢献したいと、真摯な顔つきで語った。

フィリピン諸島を結ぶ国内海底ケーブルや5Gなど、大きなプロジェクトが次々に起き上がり、滞在することがないチームIPS。共に走り続ける仲間を求めている。

海外通信・フィリピン国内通信事業



音声サービス中心、日本の国内通信事業



インターネットと電話回線を繋ぐCTIシステムやIaaSクラウドコンピューティングサービスを販売

IPSは、創業時はフィリピン人に国際電話のプリペイドカードを販売していたが、スカイプなどの無料通話サービスの台頭により、国内法人向けの音声サービス提供に切り替えた。現在は、登録電気通信事業者の強みを活かし、通話の秒課金サービスやSIPトランクサービスを組み合わせ、インターネットと電話回線を繋ぐCTIシステムAmeyoJやクラウドコンピューティングサービスなどを販売し、法人向けにビジネスソリューションを提案している。

AmeyoJは元々、IPSのフィリピンの子会社Keysquareが利用しており、使い勝手の良さから日本向けにローカライズして提供することとなった。AmeyoJはカスタマイズが容易で、他社のCRM※との連携も可能。しかも拡張性も高い。

さらにIPSは、マルチキャリアとして、大手電話会社2社の通話回線を秒課金で販売する事もできる。データセンターを所有し、通話の秒課金サービスが提供可能なIPSならではのアプローチができることが強みとなっている。

※Customer Relationship Management：顧客管理システム

ニューノーマルが提唱され、働き方も変化しつつある現在、SIPトランクやAmeyoJの需要は益々高まっている。

2017年10月入社の堀越(営業職)にインタビュー ITエンジニアと協働する国内通信の業務とは

「CTIシステムなんて聞いたこともなく、知識はゼロからのスタートでした。」2017年入社の堀越がそう告白する。通信の知識も無く、研修やキャリア開催の勉強会、そして実際にCTIシステムを導入している企業を見学して仕事を覚えていったと語る。

国内通信の営業として行うのは、商品の提案だけではない。実際は、提案するためのプレゼン資料作成から始まり、顧客のヒヤリング、見積書や要件定義書の作成など多岐にわたる。さらに運用が開始されても、何か起こった時はITエンジニアと共に、問題解決にあたる。

IPSのデータセンターに常駐するITエンジニアは、フィリピン人やインド人など外国人が多いので、必然的に英語でのコミュニケーションとなる。要件定義書の作成時や接続検証時、運用開始時にはITエンジニアと連携を取り、顧客のニーズを吸い

上げつつ、最適なプランをエンジニアと共に提案していくのだ。データセンターのエンジニアとは、チャットやEメール、電話やオンラインミーティングなどのツールでコミュニケーションを取っている。「共通言語は英語ですが、流暢である必要はありません。ITエンジニアも慣れていますので、こちらの言う事はすぐ分かってくれます。」未知の世界へ飛び込んだ堀越が指導を仰いだのは、営業の先輩だけではない。技術面からサポートをする外国人エンジニア達から学んだことも多いと言う。

お客様ファーストを心がけ、営業というより コンサルタントとして必要とされる関係に

IPSのCTIシステムを導入している顧客には、大手企業も少なくない。大手ビールメーカーや有名スポーツメーカー、メガネ店、さらに2021年3月上旬には100席規模のCTI導入企業様でIPSサービスの利用が始まる。

堀越は年末、地方に本拠地がある有名スポーツチームのお客様問い合わせセンターのシステム導入を担当し、タイトなスケ

ジュールの中、ITエンジニアと共に出張もこなした。運用開始研修の後、羽田空港に到着した際、顧客から感謝の電話を頂いた事がとても嬉しかったと語った。さらに堀越は、IPSの顧客対応の質は非常に高い、と胸を張った。「まずはお客様を第一に考えています。お客様とのリレーションシップを大事にしていますので、『何かあったらIPSに』と気軽に相談してもらえるような関係を築きたいと考えています。」

仕事を通して成長を感じている、と話す堀越は将来についても語ってくれた。「今後は、IPSの強みである、登録電気通信事業者の資格を活かし、音声を使った新商品の企画・開発をしていきたいです。」

IPSでは、誰でもが企画・開発者になれる。チャレンジは歓迎され、『面白いからやってみよう。』となる。それはIPSがOPEN DOORの理念の元、いつでも起業スピリッツや挑戦心を忘れない企業だからだ。

変化する時代と共に進化を遂げるIPS。

過去に逃げ込むこと無く、いつも新しい目標を見つけ、未来を目指して突き進む先輩達が待っている。

TELECOM BUSINESS IN JAPAN

インターネットと電話回線を繋ぐCTIシステムAmeyoJやIaaSクラウドサービスCloudSigma、登録事業者として秒課金システムを利用した付加価値サービスなどの音声サービスを販売

ITエンジニアから一言

I work with sales and technical team of AmeyoJ and Drishti for development and implementations of AmeyoJ project for different customers.

ITエンジニア

Tiwari Vijay
AmeyoJの開発
クライアントのニーズに沿ってカスタマイズしていく。



ITエンジニアと連携して、
ビジネスソリューションを
クライアントへ提案します。

Ryo Horikoshi

堀越 凌

2017年10月入社
国内通信事業 営業第二部所属
主にCTIシステムを販売。クライアントの業務内容を把握し、業務の改善などを提案していく。
有名スポーツチーム、大手ビールメーカー、メガネショップなどを担当。



運用開始までの業務プロセス



ITエンジニアとの協働タスク

ITエンジニアとの協働タスク



SHINAGAWA LASIK & AESTHETICS

フィリピン マニラ首都圏地域に、近視矯正手術と美容皮膚科のクリニック
Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation を3院運営

マカティ院(マカティ市)

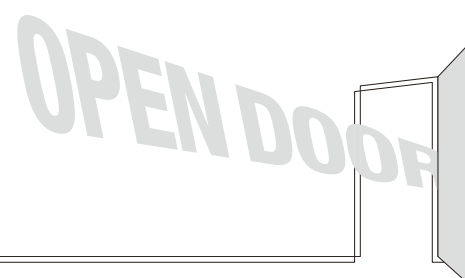
マニラ首都圏で医療・美容のクリニック設立 運営する3医院は評価と患者数がフィリピンNo.1

IPSは、在留フィリピン人の嗜好に合わせて開発させた化粧品を販売していた(現在は終了)。その販売をフィリピンでも行うに際して、ブランディングの一環として美容皮膚科と近視矯正手術(レーシック)を行う医療機関をマニラに設置することを決定し、2010年美容皮膚科とレーシックに特化したクリニックを運営することを目的としたShinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporationを設立した。現在はマニラ首都圏地域のマカティ市、パシグ市にクリニックを開設し、2020年には、タギグ市にプレミアムサービスを提供するクリニックも開設している。

美容業界は競争が激化しているが、レーシックはおおよそ7割のシェアを獲得した。2010年の開業以来、レーシック患者数および患者の評価は同国内No.1の地位にある。

昨今は地域の所得水準の向上と日本ブランドに対する信頼で、レーシックの症例数も増加傾向にある。2017年からは、白内障に対する手術も行っている。

ボニファシオグローバルシティ院(タギグ市)



医療・美容事業

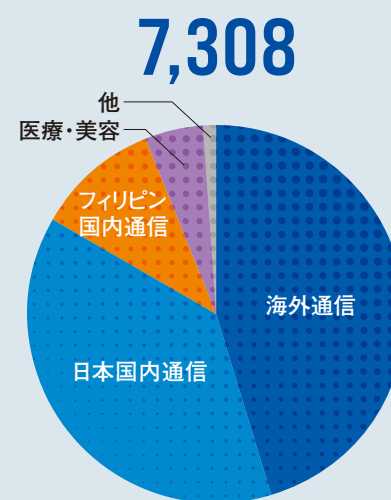
CORPORATE PERFORMANCE

業績推移

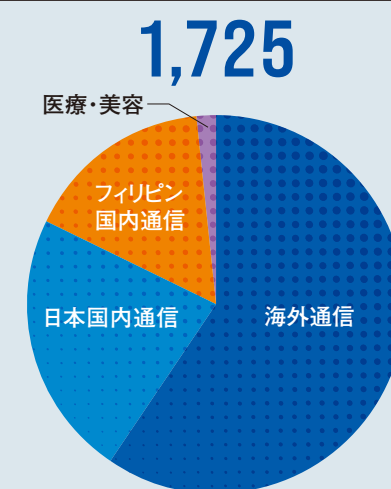
新型コロナウイルスの影響で明暗
通信事業で大型案件、フィリピンシフト進む

2021年3月期第3四半期連結累計期間は、世界的なCOVID-19ウイルス流行の影響で、フィリピンの医療・美容事業はロックダウンし、病院が休業したことから一時的な不振となった。一方、大型案件として、フィリピンと香港、シンガポールを結ぶCity to City(C2C)回線をオーストラリアのTelstraから取得し、フィリピン国内のケーブルテレビ事業者および通信事業者向けに提供したことから、海外通信事業とフィリピン国内通信事業は大幅な増益となった。日本国内でもコールセンターやテレワーク需要が増加し、国内通信事業も好調に推移した。人材関連事業は厳しい環境を受け事業譲渡。今後もとよりフィリピンでの事業を積極的に拡大していく。

売上高／セグメント別割合



営業利益／セグメント別割合※



JAPAN

国内通信事業

売上高	2,774
営業利益	402
利益率	14.5%

HONG KONG

海外通信事業

売上高	3,324
営業利益	1,056
利益率	31.8%

SINGAPORE

THE PHILIPPINES

フィリピン国内通信事業

売上高	776
営業利益	287
利益率	37.1%

医療・美容事業

売上高	369
営業利益	26
利益率	7.0%

単位:100万円
売上高／営業利益:2021年3月期第3四半期連結累計実績(2020年4月1日~2020年12月31日)
※営業利益のセグメント別割合は在留フィリピン人関連事業を除く

沿革年表

1991年	10月	海外の人材を日本企業に紹介する事業を行うことを目的として、株式会社アイ・ピー・エスを設立。
1992年	2月	国際デジタル通信株式会社(現ソフトバンク株式会社)の代理店となる。
1996年	5月	在日フィリピン人を対象としたタガログ新聞「ビノイ・ガゼット」を創刊。
1998年	8月	郵政省に旧特別第2種電気通信事業者として登録される。
1999年	1月	フィリピンでコールセンターを運営することを目的として Pilipinas International Marketing Services, Inc. (現KeySquare, Inc.) を設立。
2002年	12月	第1種電気通信事業者(テレグローブジャパン)の全株式を取得、社名を株式会社アドベントに変更。
2003年	3月	株式会社アドベントと大手電気通信事業者との間でネットワークの相互接続を開始。
2005年	3月	株式会社アドベントの営業を全部譲り受け、総務省より認定電気通信事業者として登録される。
2005年	9月	訪問介護員2級養成講座「Tokyo Caregiver Academy」を開講し(現在は休講)、国際人材事業を開始する。
2006年	1月	厚生労働省より一般派遣事業の許可を取得。
2006年	10月	厚生労働省より有料職業紹介事業の許可を取得。
2010年	2月	Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporationを、フィリピンに設立。
2012年	9月	フィリピンと香港・北米を結ぶ国際通信回線の提供を開始。
2013年	9月	コールセンター事業者向け着信課金(トールフリー)再販サービス(秒課金サービス)提供開始。
2015年	4月	フィリピンで国内電気通信事業を行うことを目的とするフィリピン法人InfiniVAN, Inc.に出資。
2016年	6月	フィリピン国会で、InfiniVAN社が通信事業を行うことを認める法律案が可決。
2017年	11月	InfiniVAN, Inc.がフィリピンルソン島における通信事業の適格であるCertificate of Public Convenience and Necessity(以下「CPCN」)のProvisional Authority(以下「PA」)を取得。
2018年	6月	東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場。
2018年	9月	InfiniVAN, Inc.がフィリピンビサヤ・ミンダナオ地域における通信事業の適格であるCPCNのPAを取得。
2019年	6月	フィリピン共和国国家通信委員会がInfiniVAN, Inc.に対し、 5Gに用いる周波数(24.250GHz～24.450GHz 200MHz×1枠)を割当。
2020年	1月	フィリピン共和国国家通信委員会がInfiniVAN, Inc.に対し、 5Gに用いる周波数(3.6～3.8GHz(うち100MHz)×1枠)を割当。
2020年	5月	国際海底ケーブルC2Cの一部(マニラー・香港・シンガポール)の使用権を取得。
2020年	12月	東京証券取引所市場第一部へ市場変更。

会社概要

社名	株式会社アイ・ピー・エス
英文社名	IPS, Inc.
代表取締役	宮下 幸治
本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階 TEL.03-3549-7621 FAX.03-3545-7331
設 立	1991年10月
払込済資本金	1,066,992千円(2020年9月30日現在)
売上高	6,508百万円(連結)※2020年3月期
従業員数	53人(IPSグループ総勢366人) ※2020年9月30日現在
主要取引先	KDDI株式会社、Telekom Malaysia、Telstra Corporation、Globe Telecom、 NTTコミュニケーションズ株式会社他 国内外の通信事業者
事業内容	[IT国内通信事業] ・国内外通信事業者への通信サービスの提供 ・コールセンター向けソリューションの提供、その他音声サービスの提供 [海外通信事業] ・フィリピンと香港、シンガポールなどを結ぶ国際通信回線の提供
ネットワークセンター	東京都江東区深川(ISO/IEC 27001:2013 JP17/080444審査登録済)
海外事業所	KeySquare, Inc.(フィリピン メトロマニラ パシグ市) InfiniVAN, Inc.(フィリピン メトロマニラ パシグ市) Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation (フィリピン メトロマニラ タギッグ市/マカティ市/パシグ市)

